

まちづくりの目標	5	誰もが学び、成長できるまち
政策	1	生涯学習を通じて心豊かなうるおいと安らぎを感じるまちにします

施策	1	生涯学習活動が活発なまちにします	担当部(統括部)	生涯学習部
----	---	------------------	----------	-------

【実現している姿】

目標	学んだ成果を社会に還元しようとする人が増え、多くの人の知識や技能が社会で生かされています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	子どもから高齢者まで積極的に学び続けています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	学習や活動をする拠点がより利用しやすくなり、多くの人に役立っています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
生涯学習指導者の登録数	目標	—	—	—	21人	—	—	—	—	—	—
	実績	20人	19人	18人	※指標の数値元となるリーダーバンク制度が平成22年度に廃止						
公民館講座等の延参加者数	目標	—	—	—	45,000人	46,000人	47,000人	48,000人	48,000人	48,000人	50,000人
	実績	48,338人	39,960人	44,600人	45,259人	46,843人					
市民1人あたりの図書貸出冊数	目標	—	—	—	4.4冊	4.6冊	4.7冊	4.8冊	5.0冊	5.2冊	5.5冊
	実績	4.1冊	4.3冊	4.3冊	4.54冊	4.4冊					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎生涯学習リーダーの養成と活動機会の提供							平成26年度事業費計
							3,000千円
生涯学習リーダーやコーディネーターを養成し、活動機会を増やすとともに、その人材の活用を促進するため積極的に周知します。							
平成26年度事業	◇せつ生涯学習大学事業848千円・◇生涯学習出前講座開催事業1千円・◇文化財保護事業2,151千円(生涯学習課)						
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	第4期実施計画期間		後期終了年度	
				平成27年度	平成28年度	平成32年度	
計画	新たな受講者の掘り起こしの検討	生涯学習大学のカリキュラムの再構築	生涯学習大学のカリキュラムの検証	大学・大学院の卒業生に対してまちづくり研究室への入会を促進し、活動機会を拡充	大学・大学院の卒業生に対してまちづくり研究室への入会を促進し、活動機会を拡充	入会した会員の活用を広くPRし、活動機会を拡充	
取組実績	生涯学習大学の周知を兼ねて、誰でも参加できるプレ講座(公開講座)を実施。プレ講座の際に生涯学習大学への案内を行ったり、市職員にも周知するなど宣伝の手法を工夫した。						
成果	受講者は平成23年度が15人に対し、平成24年は28人となった。						
次年度課題	修了後も継続して多方面で活動してもらえよう、生涯学習大学の目的や動機付けをしっかり行っていく。						
計画	出前講座で生涯学習リーダー・コーディネーターの活動機会を拡充	出前講座で生涯学習リーダー・コーディネーターの活動機会を拡充	出前講座で生涯学習リーダー・コーディネーターの活動機会を拡充	各種出前講座で生涯学習大学まちづくり研究室の会員の活動機会を拡充	各種出前講座で生涯学習大学まちづくり研究室の会員の活動機会を拡充	入会した会員の活用を広くPRし、活動機会を拡充	
取組実績	出前講座[市民編]の講師募集について各種団体に働き掛けるなど積極的に周知を行った。						
成果	内容の見直しのため出前講座[市民編]は26講座から25講座となった。						
次年度課題	出前講座の認知度をさらに上げていくための周知方法と、内容の充実について検討する。						
計画	ふるさと摂津案内人養成講座開催の検討	ふるさと摂津案内人養成講座を開催	活動場所である、ふるさと摂津講座の充実	ふるさと摂津案内人養成講座を検証	ふるさと摂津案内人の活動機会を拡充	ふるさと摂津案内人の活動機会を拡充	
取組実績	ふるさと摂津案内人養成講座を開催した。						
成果	案内人養成講座は、3人が修了。ふるさと摂津講座は154人が受講。						
次年度課題	ふるさと摂津案内人養成講座の内容の充実。						

◎市民と協働の生涯学習の推進						平成26年度事業費計 882千円
市民主体の企画・運営により、生涯学習に関するイベントなどの事業を展開します。						
平成26年度事業	◇生涯学習まちづくり推進市民会議運営事業183千円・◇生涯学習フェスティバル開催事業699千円(生涯学習課)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	後期終了年度 平成32年度
計画	市民参画による市民主体の生涯学習イベントの事例研究	生涯学習まちづくり市民会議等に市民の参画を促進	生涯学習まちづくり市民会議等に市民の参画を促進	生涯学習リーダーやコーディネーターが主体となり、市民とともにイベントを企画	生涯学習リーダーやコーディネーターが主体となり、市民、行政とともにイベントを企画運営	生涯学習リーダーやコーディネーターが主体となり、市民、行政とともにイベントを企画運営
取組実績	学識経験者を招き、奈良県桜井市が行っている社会資源の活用に関する研修会を実施した(1回実施)					
成果	生涯学習や協働の必要性について理解を深めることができた。					
次年度課題	行政と市民の「協働」の必要性をより広く周知し、市民の参画の促進を検討する。					
計画	行政・市民との「協働」による生涯学習フェスティバルの展開	行政・市民・学生との「協働」による生涯学習フェスティバルの展開	生涯学習フェスティバルの事業評価	生涯学習フェスティバルの事業評価を行い、新たなイベントの内容を展開	生涯学習フェスティバルの事業評価を行い、新たなイベントの内容を展開	生涯学習まちづくり市民会議で生涯学習フェスティバルの事業評価を行い、新たなイベント内容を展開
取組実績	市民グループがより動きやすいよう作業負担を見直し、行政・市民との「協働」による生涯学習フェスティバルを実施した。					
成果	生涯学習フェスティバル参加団体が、平成23年度43団体から、平成24年度47団体と増加した。					
次年度課題	学生の参画による「協働」をさらに意識したフェスティバルの展開を検討する。					

○生涯学習機会の拡充						平成26年度事業費計 120.723千円
公民館講座をはじめとする各種講座の充実や、学習ニーズに対応する多様な学習メニューの充実を図ります。また、子どもが読書に親しむことができる機会の充実を図ります。						
平成26年度事業	◇公民館講座開催事業4,061千円・◇図書館運営事業110,291千円・◇鳥飼図書センター運営事業6,370千円・◇生涯学習出前講座開催事業1千円(生涯学習課)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	後期終了年度 平成32年度
計画	協働にむけた公民館運営について検討・実施していく	講座の数を精査し、社会教育施設として公民館が果たすべき役割について議論する	公民館が果たすべき役割に基づき講座内容の見直しをおこなっていく	住民ニーズに対応する各種講座の内容を検討・実施していく	住民ニーズに対応する各種講座の内容を検討・実施していく	各種講座の充実や、学習ニーズに対応する多様な学習メニューの実施
取組実績	公民館講座の他、生涯学習大学・出前講座・ふるさと摂津講座等、各種講座を実施した。					
成果	生涯学習機会の拡充を一定図ることができた。					
次年度課題	社会教育施設が担う役割を再考しながら、学習ニーズに応じた講座の開催を検討する。					
計画	子どもの読書活動に関する啓発、広報活動の推進	市民図書館等で実施している本の読み聞かせ等の充実	読書活動に関わるさまざまな施設・団体・組織の連携により、子どもが読書に親しむ機会を充実	読書活動に関わるさまざまな施設・団体・組織の連携により、子どもが読書に親しむ機会を充実	家庭、地域(図書館、公民館)、学校を通じた社会全体での読書活動の推進	家庭、地域(図書館、公民館)、学校を通じた社会全体での読書活動の推進
取組実績	「第2次摂津市子ども読書活動推進計画」に基づき、ママパパ教室において保健師より乳児期からの絵本のかかわりを講話の中に取り入れるなど推進事項を実施した。					
成果	児童読書の増冊とともにテーマ展示を毎月実施するなどして、読書に関心を持ってもらえるような企画を行った。					
次年度課題	企画啓発・広報の情報交換をより一層進めるとともに、学校図書との情報交換も検討する。					

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	市民ニーズの研究	市民のニーズや時代にあった講座の開催	市民のニーズや時代にあった講座の開催	市民のニーズや時代にあった講座の開催	市民のニーズや時代にあった講座の開催	市民のニーズや時代にあった講座の開催
取組実績	出前講座は、講座内容を見直し、市民が幅広く学習できるような講座について検討した。					
成果	内容の見直しのため出前講座は101講座から94講座となったが、新たに文化財に関することや女性の権利に関する内容、NPO活動に関する内容を加えた。					
次年度課題	出前講座の認知度をさらに上げていくための周知方法と、内容の充実について検討する。					

○生涯学習の情報提供の充実 平成26年度事業費計  
-千円

生涯学習に関する情報を迅速に分かりやすく提供するため、市広報紙やホームページ内容を充実するほか、多様な手段で情報を発信します。

平成26年度事業						
-						
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	—	生涯学習に関する一元的な情報提供の方法を検討する	生涯学習に関する一元的な情報提供の方法を検討する	生涯学習に関する一元的な情報提供の方法を検討する	生涯学習に関する一元的な情報提供を行う	各関係機関との連携を進め、情報発信の整備
取組実績						
成果						
次年度課題						

○生涯学習施設の整備と利用促進 平成26年度事業費計  
130,195千円

施設のバリアフリー化を推進するとともに、多様な学習ニーズに対応できるよう施設を整備します。また、図書の利用を促進する仕組みを整備します。

平成26年度事業						
◇公民館管理事業51,060千円・◇公民館施設改修事業36,894千円・◇図書館施設管理事業8,244千円・◇鳥飼図書センター施設管理事業33,997千円(生涯学習課)						
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	千里丘・別府・新鳥飼公民館の耐震診断を実施	生涯学習施設のバリアフリー・耐震化を順次推進	生涯学習施設のバリアフリー・耐震化を順次推進	生涯学習施設のバリアフリー・耐震化を順次推進	生涯学習施設のバリアフリー・耐震化を順次推進	生涯学習施設を多様な学習ニーズに対応できるよう順次整備
取組実績	千里丘・新鳥飼公民館の耐震診断を実施した。					
成果	耐震診断の結果、新鳥飼公民館は耐震基準を満たしていることを確認した。					
次年度課題	耐震性の低い建物について、順次、耐震化工事を実施していく必要がある。					
計画	図書館内での本の読み聞かせ等の充実	図書館内で行うイベントの検証	図書館内で行うイベントの充実	公民館と連携し、図書利用促進のための環境を整備	公民館と連携し、図書利用促進のための環境づくりについて検証	関係機関と連携し、図書利用促進のための環境を整備
取組実績	民間のノウハウを活用し、市民の図書館のスムーズな利用につながるよう検討した。					
成果	本棚のレイアウト変更や、全国で取組まれているぬいぐるみお泊まり会といった企画を取り入れるなどして、利用の増加につなげた。					
次年度課題	利用者登録が人口比で21%と低いため、登録の増加を図りつつ、利用増加について検討を行う。					
計画	図書の借り受けに関して近隣市を含む広域連携の検討	図書の借り受けに関して近隣市などと広域連携の検討	図書の借り受けに関して近隣市などと広域連携の検討	図書の借り受けに関して近隣市などと広域連携の検討	図書の借り受けに関して近隣市などと広域連携の検討	図書の借り受けに関して近隣市などと広域連携の推進
取組実績	図書館広域連携について近隣の吹田市にアプローチを行った。					
成果	連携には至らなかったが、広域連携に関する理解が深まった。					
次年度課題	広域連携については今後も検討する必要がある。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

せつつ生涯学習大学による人材育成						平成26年度事業費計 848千円
生涯学習の場を提供し、習得・向上した知識や技能を地域社会の活性化に生かすことができるリーダーやコーディネーターの養成を図ります。「大学」では出会い・学びを、さらに「大学院」では企画・立案、「研究室」では実践を目的としており、ここで学んだ人材の活用と活動機会の提供を進めます。						
平成26年度事業 ◇せつつ生涯学習大学事業848千円(生涯学習課)						
			第4期実施計画期間			後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	受講者の増が見込める時間帯等の検討	受講者の増が見込める時間帯等の検討	幅広い世代が受講しやすい内容等の検討	幅広い世代の卒業生による「まちづくり研究室」が自主的に実施する活動を支援	幅広い世代の卒業生による「まちづくり研究室」が自主的に実施する活動を支援	幅広い世代の卒業生による「まちづくり研究室」が自主的に実施する活動を支援
取組実績	生涯学習大学の宣伝を兼ねて、誰でも参加できるプレ講座(公開講座)を実施。					
成果	受講者は平成23年度が15人に対し、平成24年は28人となった。					
次年度課題	修了後も継続して多方面で活動してもらえよう、生涯学習大学の目的や動機付けをしっかりと行っていく。					

生涯学習フェスティバルの充実						平成26年度事業費計 699千円
市民が中心となった実行委員会によるイベントとして充実を図ります。						
平成26年度事業 ◇生涯学習フェスティバル開催事業699千円(生涯学習課)						
			第4期実施計画期間			後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実
取組実績	人間科学大学の学生にも参画してもらい行政・市民・学生の「協働」による生涯学習フェスティバルを実施した。					
成果	生涯学習フェスティバル参加団体が、平成23年度43団体から、平成24年度47団体と増加した。					
次年度課題	学生の参画による「協働」をさらに意識したフェスティバルの展開を検討する。					